

令和2年第5回（9月）上越市議会定例会

総務常任委員会資料【所管事務調査】

地方創生の取組状況について

○上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価検証について

- ・第1期総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標(KPI)実績値 1～7
- ・第2期総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 8～12

○地域再生計画の進捗状況について

- ・地域再生計画の進捗状況について（平成30年度までの取組） 13
- ・地域再生計画 テーマ1「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」 14～15
- ・地域再生計画 テーマ2「雪室・利雪による地域産業イノベーション」 16
- ・地域再生計画 テーマ3「国登録有形文化財小林古径邸を活かした芸術文化拠点の創生～小林古径記念美術館増改築事業」 17

第1期総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）実績値

評価…A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成

分野1【しごとづくり】

基本目標：「安定的で魅力ある雇用を創出する」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R1)	目標 (R1)	最終実績
数値 目標	雇用の場が整っていると感じる 市民の割合※1	全体21.6% 20代以下： 27.3% 30代：23.1% (H25)	全体34.8% 20代以下： 45.9% 30代：41.3%	策定時を上回る	A

A-1 上越の強みをいかした地域産業の活性化

A-1-1 農・商・工・環連携による新しい上越産品の開発と市場拡大

1	メイド・イン上越認証品数（累計）	76品（H27）	117品	100品	A
2	新商品・新技術の開発・市場化の件数（市支援分）	5件／年（H26）	5件／年	5件／年	A
3	見本市等へ出展した事業者数（市支援分）	8事業者／年（H26）	22事業者	40事業者／年	B
4	新規にeコマースに参入した事業者数（市支援分）（累計）	—	29事業者	40事業者	B
5	商店街等の活性化に向けたイベント開催等の取組件数（市支援分）	10件／年（H26）	7件／年	11件／年	C
6	地産地消推進の店の認定数	126店（H26）	167店	150店	A
7	雪室食品を商品化する食品関連事業者数（市支援分）（累計）	—	8事業者（H30）	8事業者	A

A-1-2 地域資源・地域特性をいかした新産業創出

7 再掲	雪室食品を商品化する食品関連事業者数（市支援分）（累計）	—	8事業者（H30）	8事業者	A（再掲）
8	メタンハイドレートの供給拠点としての直江津港の活用	メタンハイドレートの発掘調査の促進やPR活動を関係機関と連携して行っている。	国や県、関係機関が開催したフォーラム等への参加による情報収集や環境イベント等でのPR、小学校への出張授業などを行っている。国による表層型メタンハイドレートの回収・生産技術の調査研究が引き続き行われている。	メタンハイドレートの試掘・調査の拠点として直江津港が活用されている状態	B
9	直江津港の外貿定期コンテナの仕向地など	4航路（H26）	2航路	航路数の増加・コンテナの仕向け地の多様化	B
10	外貿定期コンテナ取扱量（コンテナ取扱個数は、20フィートコンテナ1個に換算した数）	31,341個／年（H26）	37,229個／年	50,000個／年	B

A-1-3 地域産業支援のためのネットワーク強化

11	創業支援・創業（実現）件数（市支援分）	【参考】 創業支援140件 創業（実現）55件（H21～25累計）	創業支援 157件／年 創業（実現） 84件／年	創業支援 50件／年 創業（実現） 20件／年	A
2 再掲	新商品・新技術の開発・市場化の件数（市支援分）	5件／年（H26）	5件／年	5件／年	A（再掲）

A-1-4 上越の農業の競争力強化と担い手確保

12	認定農業者等の担い手への農地集積率	62.0％（H26）	69.0％	78.0％	B
13	認定農業者数	1,099人（H26）	1,080人	策定時以上	C
14	新規就農者数	28人／年（H26）	29人／年	31人／年	B

A-2 観光振興を通じた地域産業の活性化

A-2-1 観光コンテンツの充実と観光関連産業の強化

15	市内への観光客入込数	5,437,588人／年	5,176,854人／年（H30）※2	7,600,000人／年	—
16	春日山城跡の観光客入込数	274,680人／年（H26）	282,360人／年	300,000人／年	B
17	市内宿泊施設の定員稼働率	31.4％（H26）	29.5％（H30）※2	43.4％	—

A-2-2 コンベンション誘致による交流人口拡大

18	100人以上の宿泊を伴うコンベンションの誘致件数	5件／年（H26）	9件／年	12件／年	B
----	--------------------------	-----------	------	-------	---

A-3 誰もが生きがいを持って働ける環境づくり

A-3-1 キャリア教育の推進

19	働くことの意義や働く人の思いに気付くとともに、自分の将来について関心を高める中学生が90％以上いる中学校の割合、校数（中学校キャリア・スタートウィークアンケート）	90.9％、20校（H26）	100.0％ 22校/22校	対前年度の割合、校数を上回る	A
----	---	----------------	-------------------	----------------	---

A-3-2 若者の就労支援と定着促進

20	高校生・大学生等のインターンシップ受入事業者数（市把握分）	42事業者（H27）	113事業者	70事業者	A
----	-------------------------------	------------	--------	-------	---

A-3-3 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援

21	農福連携障害者就労支援事業の取組状況	障害者の農業分野での就労を支援するモデル事業を実施している。	障害者の農業分野での就労が徐々に農業者に認知され、拡大している。	障害者の農業分野での本格的な就労が実現している状態	A
22	女性の就業率（25歳～44歳）	74.6％（H22）	77.8％	76.5％	A

分野名	A	B	C	計
分野1 しごとづくり	11	9	2	22

（A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成）

分野2【結婚・出産・子育て】

基本目標：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R1)	目標 (R1)	最終実績
数値 目標	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合※1	全体53.8% 20代以下： 54.0% 30代：52.4% (H25)	全体64.0% 20代以下： 67.6% 30代：70.3%	策定時を上回る	A

B-1 仕事と生活が調和した社会の形成

B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進

23	仕事に満足している理由として「趣味・家庭生活との両立」「子育てとの両立」を上げる人の割合（若者世代・子育て世代の市民アンケート）	「趣味・家庭生活との両立」10.1% 「子育てとの両立」19.4% (H27)	「趣味・家庭生活との両立」11.4% 「子育てとの両立」21.6%	策定時以上	A
----	--	---	--------------------------------------	-------	---

B-2 出会い・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり

B-2-1 若者の自分磨きと交流促進

24	20代・30代で結婚を希望する人のうち、適当な相手にめぐり会えていない人の割合（若者世代・子育て世代の市民アンケート）	58.6% (H27)	48.8%	策定時以下	A
----	---	-------------	-------	-------	---

B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

25	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合※1	53.8% (H25)	64.0%	策定時以上	A
26	合計特殊出生率	1.68 (H25)	1.51 (H30)	策定時以上	C
27	不妊治療費の助成件数（市助成分）	150件／年 (H26)	399件／年	200件／年	A

B-2-3 子どもの育ちへの支援の充実

28	児童・生徒の全国標準学力テストの偏差値	全学年・全教科で全国平均と同程度又は上回る（大きく上回るを含む。以下同じ。） (H26)	・小学校では、全学年全教科において、全国偏差値平均を上回った。 ・中学校では、2、3年生の国語において全国の偏差値平均を上回り、他は同程度だった。	全学年・全教科で全国平均と同程度又は上回る。	A
29	学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	小学6年生 91.7% 中学3年生 83.1% (H26)	小学校6年生 87.2% 中学校3年生 82.0%	小学6年生 93.5% 中学3年生 87.5%	C

30	学習障害（LD）通級指導の取組状況	指導員を増員した学習障害（LD）通級指導をモデル実施している。（H27）	本格実施により児童の小学校から中学校へのよりスムーズな移行につながっている状態	本格実施により児童の小学校から中学校へのよりスムーズな移行につながっている状態	A
----	-------------------	--------------------------------------	---	---	---

B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進

31	学校運営協議会の熟議・協働が課題解決・改善に結び付いた学校の割合	79.7% (H26)	97.2%	82.5%	A
32	地域青少年育成会議事業等への地域住民の参加者数	143,000人／年 (H26)	167,125人／年	策定時以上	A

B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信

25 再掲	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合※1	53.8% (H25)	64.0%	策定時以上	A(再掲)
----------	------------------------	-------------	-------	-------	-------

分野名	A	B	C	計
分野2 結婚・出産・子育て	9	0	2	11

（A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成）

分野3【まちの活性化】

基本目標：「時代に合った地域を形成し、地域間連携を活性化させる」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R1)	目標 (R1)	最終実績
数値 目標	上越市を暮らしやすいと感じる 市民の割合※1	全体79.2% 中心市街地： 81.6% 平野部：76.3% 中山間部： 72.8% (H25)	全体77.2% 中心市街地： 80.2% 平野部：72.5% 中山間部： 67.9%	策定時を上回る	C

C-1 多様な地域特性の磨き上げと活用

C-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上

33	中心市街地における空き店舗の 件数	高田 21件 直江津 10件 (H27)	高田 16件 直江津 10件	高田 17件 直江津 6件	B
----	----------------------	----------------------------	-------------------	------------------	---

C-1-2 農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上

34	中山間地域支え隊の派遣人数	—	142人／年	300人／年	B
35	中山間部に住んでいる市民の暮 らしやすいと感じている割合 ※1	72.8% (H25)	67.9%	76.0%	C
36	移住希望者からの相談対応件数	77件／年 (H26)	152件／年	82件／年	A

C-1-3 都市のストックの活用促進

33 再掲	中心市街地における空き店舗の 件数	高田 21件 直江津 10件 (H27)	高田 16件 直江津 10件	高田 17件 直江津 6件	B(再掲)
----------	----------------------	----------------------------	-------------------	------------------	-------

C-2 地域活動の担い手確保と活性化

C-2-1 地域活動の担い手確保と活性化

37	地域活動や市民活動に参加して いる市民の割合※1	42.5% (H25)	46.5%	47.5%	B
38	集落や町内会などの地域コミュ ニティ活動が盛んであると感じ ている市民の割合※1	55.5% (H25)	57.4%	63.0%	B
39	NPO・ボランティアセンターの 市民活動団体の登録団体数	231団体 (H26)	261団体	245団体	A
40	地域活動やボランティア活動に 参加したことのある市内大学生 の割合(まちづくりに関するア ンケート調査)	73.6% (H27)	81.0%	88.4%	B
41	行動する人づくり事業「元気の 出るふるさと講座」受講者数	720人／年 (H26)	506人／年	1,000人／年	C

C-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化

34 再掲	中山間地域支え隊の派遣人数	—	142人／年	300人／年	B(再掲)
42	地域コミュニティ活動が始まる 地区数(市支援分)	—	1地区／年	3地区／年	B

C-3 地域と地域を結ぶつながりの強化

C-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進

43	路線バス・乗合タクシー・スクールバス混乗の利用者数	1,737千人／年 (H24)	1,482千人／年	1,561千人／年	C
44	えちごトキめき鉄道の乗車人数 (1日1km当たり平均)	1,925人 (H24えちごトキめき鉄道調査)	1,568人／日	1,812人／日	C
45	ほくほく線の乗車人数 (1日1km 当たり平均)	922人 (H25)	1,293人／日	1,088人／日	A

C-3-2 地域と地域を結ぶストーリーづくり

46	地域の歴史や伝統が継承されていると感じている市民の割合 ※1	50.3% (H25)	60.9%	53.5%	A
----	-----------------------------------	-------------	-------	-------	---

分野名	A	B	C	計
分野3 まちの活性化	4	8	4	16

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)

分野4【U I Jターンとまちの拠点性】

基本目標：「上越市への多様な人の流れを創出する」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R1)	目標 (R1)	最終実績
数値 目標	市内への観光客入込数	5,437,588人／ 年 (H26)	5,176,854人／ 年 (H30) ※2	7,600,000人／ 年	—
	今後も上越市に住み続けたいと 感じる市民の割合※1	全体75.0% 20代以下： 64.6% 30代：65.7% (H25)	全体69.5% 20代以下： 52.3% 30代：64.5%	策定時を上回る	C

D-1 U I Jターンの促進

D-1-1 U I Jターンの促進

36 再掲	移住希望者からの相談対応件数	77件／年 (H26)	152件／年	82件／年	A(再掲)
----------	----------------	----------------	--------	-------	-------

D-2 まちの総合力の強化による求心力の向上

D-2-1 まちの拠点性強化

47	上越市まち・ひと・しごと創生 推進協議会における地域を挙げ た「まち・ひと・しごと創生」 に向けた取組の状況	協議会の設立と 本戦略の策定	協議会構成団体の 連携が進み、 分野横断的、業 種横断的に事業 が展開されている 状態	協議会構成団体の 連携が進み、 分野横断的、業 種横断的に事業 が展開されている 状態	A
----	---	-------------------	--	--	---

分野名	A	B	C	計
分野4 U I Jターンとまちの拠点性	2	0	0	2

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)

評価結果総括表

数値目標

政策分野	項目	評価
分野1 しごとづくり	雇用の方が整っていると感じる市民の割合※1	A
分野2 結婚・出産・子育て	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合※1	A
分野3 まちの活性化	上越市を暮らしやすいと感じる市民の割合※1	C
分野4 U I Jターンとまちの拠点性	市内への観光客入込数	—
	今後も上越市に住み続けたいと感じる市民の割合※1	C

重要業績評価指標 (KPI)

集計中のKPIについては下記に含めず

分野名	A	B	C	計
分野1 しごとづくり	11	9	2	22
分野2 結婚・出産・子育て	9	0	2	11
分野3 まちの活性化	4	8	4	16
分野4 U I Jターンとまちの拠点性	2	0	0	2
合計	26	17	8	51

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)

第 2 期総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標 (KPI)

分野 1【しごとづくり】

基本目標	数値目標			
	区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
安定的で魅力ある雇用を創出する	新規	34 歳以下の就職率（ハローワーク上越管内、パートを除く常用、雇用期間の定めなし又は 4 か月以上）	39.8% (H30)	45.7%
	継続	雇用場が整っていると感じる 20 代・30 代の市民の割合	42.2% (R1)	42.2%以上

基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI)			
		区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
A-1 地域産業の活性化	A-1-1 地域産業の競争力強化と地域内経済循環	継続	メイド・イン上越認証品数（累計）	126 品 (R1.7)	176 品
		継続	雪室食品を商品化する食品関連事業者数	8 事業者 (H30)	13 事業者
	A-1-2 産業誘致とインフラ整備	継続	直江津港の外貿定期コンテナの仕向地など	2 航路 (H30)	航路数の増加・コンテナの仕向け地の多様化
		継続	外貿定期コンテナ取扱量（コンテナ取扱個数は、20 フィートコンテナ 1 個に換算した数）	33,097 個/年 (H30)	50,000 個/年
	A-1-3 ものづくりを核とした中小企業の成長促進	新規	製造品出荷額等	574,963 百万円 (H29)	706,283 百万円
		新規	製造業従業員数	16,686 人 (H29)	18,064 人
		継続	新商品・新技術の開発・市場化の支援件数	4 件/年 (H30)	5 件/年
	A-1-4 農業の競争力強化と担い手確保	継続	認定農業者等の担い手への農地集積率	68.4% (H30)	90.0%
		継続	認定農業者数	1,150 人 (H31.4)	1,040 人
		継続	新規就農者数	38 人/年 (H30)	31 人/年
A-2 多様な働く場の創出	A-2-1 若者の定着促進と就労支援	新規	高校新卒者の地元就職割合	73.9% (H30)	80.0%
		新規	インターンシップを受け入れている市内企業の割合	60.0% (H30)	50%
	A-2-2 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援	新規	子育て中の女性の就職率（ハローワーク上越マザーズコーナーにおける就職率）	42.7% (H30)	44.5%
		一部継続	創業実現件数	72 件/年 (H30)	72 件/年

分野 2【結婚・出産・子育て】

基本目標	数値目標			
	区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える	新規	合計特殊出生率	1.51 (H30)	1.68
	継続	出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	70.0% (R1)	70.0%以上

基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI)			
		区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
B-1 仕事と生活が調和した社会の形成	B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進	新規	市内企業におけるハッピー・パートナー企業登録制度の登録数	55 件 (H30)	73 件
		新規	協議会参加団体(※)により新たに創出(刷新)されたワーク・ライフ・バランスの趣旨を踏まえた研修、家族参加型イベントの件数	1 件/年 (H30)	2 件/年
B-2 結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり	B-2-1 自然な出逢いと結婚の希望の実現	新規	婚姻率	4.0 (H30)	4.0
		新規	協議会参加団体により新たに創出(刷新)された若者参加型の研修、イベントの件数	2 件/年 (H30)	2 件/年
	B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	新規	子育てジョイカードの年間発行世帯数	2,754 世帯 (H30)	2,446 世帯
		新規	待機児童数	0 人 (H30)	0 人
	B-2-3 すこやかな育ちへの支援の充実	継続	児童生徒の標準学力検査の偏差値	中学校 2 年英語のみ全国平均と同程度であるが、他は全学年・全教科で全国平均を上回る。 (H30)	小学校の各教科の偏差値平均 53 以上 中学校の各教科の偏差値平均 52 以上
		継続	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	小学 6 年生 88.2% 中学 3 年生 84.5% (H29)	小学 6 年生 95.0% 中学 3 年生 90.0%
	B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進	新規	ファミリーサポートセンターの依頼会員数と提供会員数の比率	54.1% (参考：依頼会員 516 人、提供会員 279 人) (H31.3)	54.1%以上
		継続	地域青少年育成会議事業等への地域住民の参加者数	174,586 人/年 (H30)	181,000 人/年
	B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信	新規	まち・ひと・しごと創生推進協議会 SNS の子育て環境に関する情報の投稿数	12 件/年 (H30)	36 件/年
		新規	市と協議会参加団体が発信する子育て支援に関する SNS のフォロワー数	1,056 人 (R1.11)	1,556 人

(※) 協議会参加団体…「産・官・学・金・労・民」の 13 の機関・団体からなる会員と、市内の市民団体、NPO 法人、企業等からなるアクションメンバーで構成する組織。ここでは、上越市を除く。

分野3【まちの活性化】

基本目標	数値目標			
	区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
時代に合った地域を形成し、地域間連携を活性化させる	新規	休日滞在人口率(滞在人口÷国勢調査人口) ※滞在人口…休日の14時に当市に滞在していた人数	1.04 (H30)	1.04以上
	継続	上越市を暮らしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	77.6% (R1)	77.6%以上

基本的方向性	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI)			
		区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
C-1 多様な地域特性の磨き上げと活用	C-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上	新規	拠点施設の入館者数 直江津…直江津学びの交流館、ライオン像のある館、直江津ショッピングセンター 高田…町家交流館高田小町、高田まちかど交流館、あすとびあ高田、イレブンプラザ	953,404人 (H30 直江津) 1,128,338人 (H30 高田)	954,000人以上(直江津) 1,129,000人以上(高田)
		新規	立地適正化計画の誘導重点区域内における65歳未満の人の区域外への転居数	313人/年 (H30)	295人/年以下
	C-1-2 農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上	新規	地域支え合い事業を運営する住民組織数(累計)	22団体 (H31.4)	25団体
		新規	地域マネジメント組織の設置・取組	市内12の組織において中山間地域の活性化に向けた取組が行われている状態 (H30)	各地域の維持、再生に向けた取組が継続されている状態
	C-1-3 都市のストックの活用促進	新規	高田区の町家区域における社会減の解消数	0人/年 (H30)	10人/年
		新規	協議会参加団体により新たに創出(刷新)された雁木・町家に関するイベントの件数	2件/年 (H30)	2件/年
C-2 地域活動の担い手確保と活性化	C-2-1 まちづくりへの参画とまちへの愛着醸成	新規	NP0・ボランティアセンターのボランティアコーディネート数	133件/年 (H30)	133件/年
		新規	公民館が行う講座を受講したことにより、地域づくりに関する行動等につながった受講者の割合	-	50.0%
		新規	インスタグラムにおける「#上越」をつけた投稿数	約32,000件/年	40,841件/年
	C-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化	継続	NP0・ボランティアセンターの市民活動団体の登録団体数(累計)	255団体 (H30)	255団体
		新規	協議会参加団体(市民団体に限る)により新たに創出(刷新)された団体の収入につながるイベント・サービス等の件数	0件/年 (H30)	2件/年

基本的 方向性	具体的施策	重要業績評価指標（KPI）			
		区分	項目	現状値(時点)	目標（R6）
C-3 地域と地域を結ぶつながりの強化	C-3-1 公共交通の 利便性向上 と利用促進	継続	路線バス・乗合タクシー・スクールバス混乗の利用者数	1,497,000/年 (H30)	1,487,000/年
		継続	在来線鉄道の利用者数（ほくほく線、えちごトキめき鉄道） ※1km当たりの1日平均旅客輸送人数	3,034人/日 (ほくほく線： 1,395人/日 (H30)、トキ鉄： 1,639人/日 (H30))	2,809人/日 (ほくほく線： 1,240人/日、トキ鉄： 1,569人/日)
	C-3-2 地域内の交流促進と魅力発信	新規	文化財の公開・活用を図る出前講座や体験学習事業への参加者数	4,110人/年 (H30)	4,544人/年
		新規	上越観光 Navi の総ページビュー数	1,009,687件/年 (H30)	1,600,000件/年
C-4 交流人口の拡大による自立したまちづくり	C-4-1 観光コンテンツの充実と各担い手の観光マインドの底上げ	継続	市内への観光客入込数	5,176,854人/年 (H30)	5,830,000人/年
	C-4-2 コンベンション誘致による多様な交流機会の拡大	新規	全国規模のスポーツ大会の誘致件数	2件/年 (H30)	6件/年
		継続	100人以上の宿泊を伴うコンベンションの誘致件数	12件/年 (H30)	17件/年

分野 4【UIJ ターンとまちの拠点性・担い手づくり】

基本目標	数値目標			
	区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
多様な人の流れやまちを担う人を創出する	新規	転入者数	4,246 人 (H26～H30 の 平均値)	4,246 人以上
	継続	今後も上越市に住みたいと感じる 20 代・30 代の市民の割合	60.5% (R1)	60.5%以上

基本的 方向性	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI)			
		区分	項目	現状値(時点)	目標 (R6)
D-1 若者等の定住・UIJ ターンの促進	D-1-1 若者等の定住・UIJ ターンの促進	継続	移住希望者からの相談対応件数	113 件/年 (H30)	134 件/年
		新規	市の移住関係制度等を利用した移住者数	14 組・19 人 (H30)	43 組・62 人
D-2 まちの総合力の強化による求心力の向上	D-2-1 まちの拠点性の強化	新規	上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会の SNS フォロワー数	1,319 人 (R1.9)	2,819 人
		新規	市と協議会参加団体が新たに着手した未来技術に関する取組の件数	-	2 件/年
D-3 まちを担う若者人材の育成と交流	D-3-1 若者の人材育成と交流促進	新規	市が主催、共催、後援する若者が参加対象の事業の件数	26 件/年 (H30)	56 件/年
		新規	市が共催、後援する若者が参画する事業の件数	6 件/年 (H30)	16 件/年
	D-3-2 外部人材の活躍	新規	市と大学の連携及び地域と大学の連携の件数 (累計)	59 件 (H30)	75 件

区 分	テーマ1 城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』	テーマ2 雪室・利雪による地域産業イノベーション	テーマ3 国登録有形文化財小林古径邸を活かした芸術文化拠点の創生～小林古径記念美術館増改築事業
計画期間	平成28年度～令和2年度（5年間）	平成28年度～令和2年度（5年間） うち 交付金交付期間は平成28年度から平成30年度（3年間）	平成30年度～令和2年度（3年間）
計画の目標	・「住んでみたいまち、訪れてみたいまち」の実現 ・コンパクトシティによるまちづくりの推進	・雪室商品等の高付加価値化、販売拡大による産業振興 ・観光誘客の拡大 ・雪国文化の継承や地域愛・誇りの醸成	・小林古径記念美術館の増改築 ・歴史・文化資源の活用 ・芸術文化発信による交流人口の拡大
平成30年度までの事業費	・平成28年度 75,432千円 ・平成29年度 117,412千円 ・平成30年度 57,511千円	・平成28年度 50,413千円 ・平成29年度 34,028千円 ・平成30年度 32,031千円	・平成30年度 85,890千円
平成30年度までに実施した主な事業	・町家シェアハウス整備 ・百年料亭をいかした誘客・回遊強化事業 ・街なか拠点施設整備（旧第四銀行高田支店活用事業） ・高田小町における物販機能拡充 ・回遊サイン計画作成 等	・雪室商品の開発支援 ・雪室の改修・整備 ・雪下・雪室野菜の生産拡大の取組支援 ・雪下・雪室野菜の販売促進 等	・基本設計、地質調査 ・実施設計 ・増改築工事

- 市では、平成28年8月に認定を受けた地域再生計画に基づき、高田区の歴史・文化資産を活用した街の再生に向けて、地方創生推進交付金等を活用しながら、街なか居住の促進や交流人口の拡大に関する各種取組を一体的に推進している。
- 平成30年3月には、国土交通省と内閣府が選定する「地方再生コンパクトシティのモデル都市」に県内で唯一選定された。
- 令和元年度は、空き町家の利活用をテーマとするワークショップ等を通じた次世代のまちの担い手育成や、高田の街なかの回遊を促進するためのサイン整備を行った。また、旧今井染物屋と旧師団長官舎の保存と更なる活用に向けた実施設計を行ったほか、高田世界館を活用した誘客・回遊事業等に取り組んだ。

令和元年度に実施した事業 88,009千円

地方創生推進交付金等

- ＜地域再生計画の概要＞
計画期間 : H28～R2 (5年間)
計画の目標: 「住んでみたいまち、訪れてみたいまち」の実現
コンパクトシティによるまちづくりの推進
- ＜地域再生を図るための事業内容(令和元年度)＞
- 街なか居住の促進
 - まちなか居住推進検討会運営委託等 4,191
 - 町家活用PR業務委託 411
 - 街を支える経済基盤の強化
 - 高田世界館を活用した誘客・回遊強化事業 3,139
 - 100年映画館周辺交流広場整備事業※ 12,617
 - 旧今井染物屋の活用 2,507
 - 市所有の町家の公開、まちなか散策の促進 1,051
 - 城下町高田地方創生推進事業補助金 1,086
 - 高田まちなか回遊マップ作成委託 746
 - 南本町三丁目景観まちづくり活動支援等 5,242
 - テレワーク実証事業委託 543
 - 旧今井染物屋耐震改修工事設計委託等※ 8,305
 - 旧師団長官舎改修工事設計委託等 5,609
 - 高田街なか回遊サイン整備事業※ 8,403
 - 高田小町駐車場整備事業※ 31,013
 - 多様な担い手の連携・協働を促進するプロジェクトマネジメント
 - 城下町高田リノベーションまちづくり事業 3,146
- ※社会資本整備総合交付金

主な成果

- ＜リノベーションまちづくり事業による次世代のまちの担い手育成＞
- ✓ 事業内容: 若手人材の育成に資する空き家等の利活用をテーマとしたワークショップを3回開催したほか、物件を紹介するパンフレットを作成
 - ✓ 成果: 地域の若手人材が主体的に企画・運営したワークショップを通じて、空き家所有者や地域住民等との連携を深めるなど、街の担い手の育成に寄与した。また、パンフレットの作成により、空き家の活用希望者の発掘が期待されるとともに、作成に携わった若手人材のまちづくりへの参加の意欲を高めることができた。
- ＜右: パンフレット作成会議＞
＜左: 空き家見学会＞
- ＜高田街なか回遊サインの整備＞
- ✓ 事業内容: 街なかの魅力向上や回遊促進に向けたサイン整備
 - ✓ 成果: マップを表示したサインの既存改修と新規設置を行うことで、回遊を促進するとともに、景観の向上を図ることができた。
- ＜新規設置サイン＞

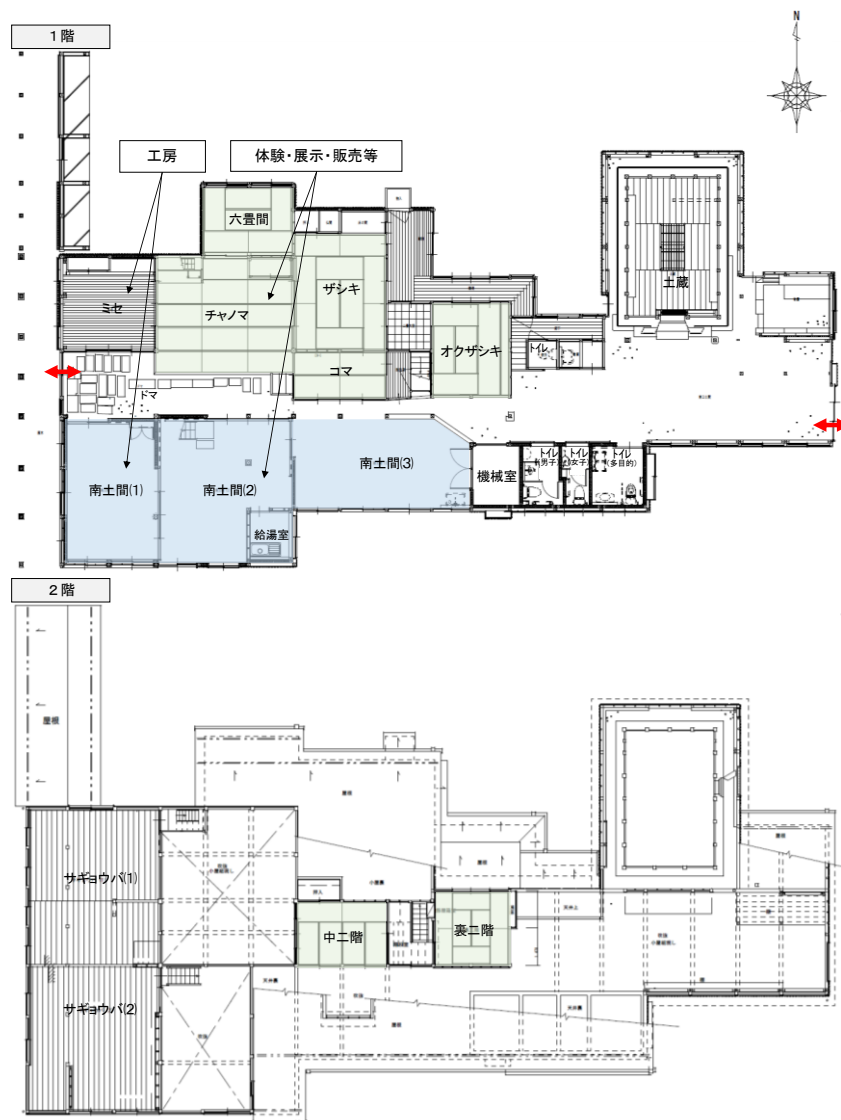
- ＜旧今井染物屋・旧師団長官舎の保存と更なる活用＞
- ✓ 事業内容: 旧今井染物屋・旧師団長官舎の保存と更なる活用に向けた実施設計等
 - ✓ 成果: 各施設の活用方法を踏まえ、整備内容を決定した。
 - ・旧今井染物屋: 地域の手仕事文化の継承と発信を行う拠点施設
 - ・旧師団長官舎: 民間事業者によるレストラン
- ＜高田世界館周辺の誘客・回遊強化＞
- ✓ 事業内容: 広域誘客イベントや地域との交流・回遊を図るイベントの開催及び交流広場の整備工事
 - ✓ 成果: 来館者数は増加傾向を維持したほか、交流広場を整備し、街歩きの拠点性を高めることができた。
- ＜町家交流館高田小町広場＞
- 高田世界館年間来館者数 (人/年)
- | 年度 | 来館者数 |
|-------|--------|
| H27年度 | 10,426 |
| H28年度 | 15,571 |
| H29年度 | 14,141 |
| H30年度 | 17,586 |
| R1年度 | 17,059 |
- 来館者数: 事業開始前から約1.6倍に増加

評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前	目標値 (R2.3末時点)	実績値	
高田区の人口の社会減の解消数 (H22～H26の平均値△192人/年からの削減数) (単位: 人/年)	0人	41人	△67人	・目標値の達成は5割未満 ・高田中心市街地外の社会減が大きく、20代の若者の市外への転出が顕著となっている。これは、当市全体の人口減少(社会減)の要因とも重なることから、第2期総合戦略で推進する若者世代のまちへの愛着向上に向けた取組を始め、若者・子育て世代に選ばれるまち、住み続けたいまちの実現に向けた取組を推進していく。
高田区の街なかの観光客入込数 (単位: 人/年)	228,971人 (H27)	396,000人	201,581人	・目標値の5割以上達成 ・台風等の影響による大規模集客イベントの入込数の減少が主な要因の一つとなっている。今後は、大規模集客イベントに加え、歴史的建築物の活用や情報発信など、来訪者の増加や回遊につながる取組を促進する。
新たに入居した空き家、空き店舗の数 (単位: 件/年)	1件 (H27)	10件	11件	・目標値を達成 ・計画どおり推進する。

旧今井染物屋

<令和元年度の取組>

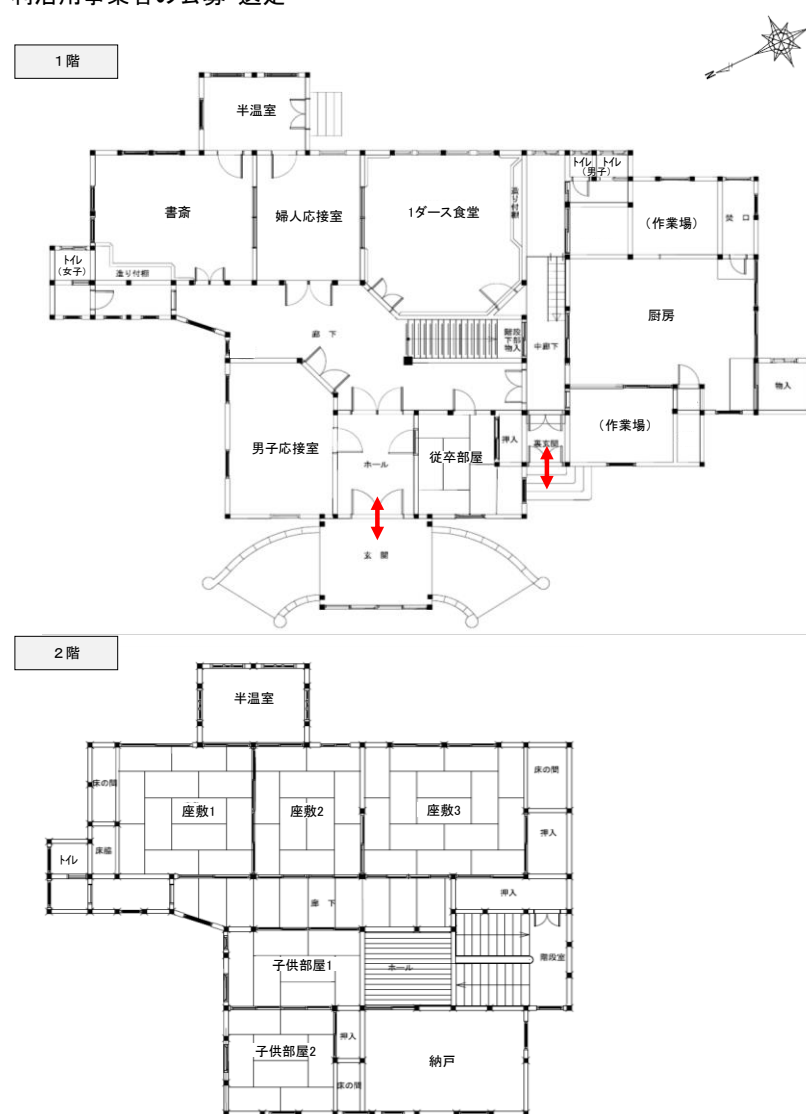
- ・公の施設の設置に関する高田区地域協議会への諮問等
- ・実施設計業務



旧師団長官舎

<令和元年度の取組>

- ・公の施設の用途変更に関する高田区地域協議会への諮問等
- ・実施設計業務
- ・利活用事業者の公募・選定



- 地域資源の雪と、雪国ならではの文化・技術を活用し、雪室商品と雪下・雪室野菜の高付加価値化による産業振興に加え、観光誘客や雪国文化の継承、地域愛の醸成に向けて、地方創生推進交付金等(交付期間:平成28～30年度)を活用し、官民が連携して取組を進めてきた。
- 令和元年度からは、推進組織「雪室推進プロジェクト」が、新たな推進体制を構築した上で、これまでの取組を継続し、雪室商品の開発や販売促進の取組を行った。
- JAえちご上越の令和元年度取組として、雪下・雪室野菜のブランド化に向けた研修会の開催等により、栽培技術の確立と生産拡大を図るとともに、高付加価値化販売による生産農家の所得向上を目指した。

令和元年度に実施した取組

＜地域再生計画の概要＞

計画期間 :H28～R2 (5年間)
うち 交付金交付期間:H28～H30(3年間)
計画の目標:雪室商品等の高付加価値化、販売拡大による産業振興
観光誘客の拡大
雪国文化の継承や地域愛・誇りの醸成

＜地域再生を図るための取組内容＞

令和元年度から、雪室推進プロジェクトやJAえちご上越、各事業者が主体的に各種の取組を実施した。

■ 雪室商品等の高付加価値化、販売拡大等

- 雪室商品の開発
- 雪室グルメフェアの開催(夏、冬)
- 雪室みやげマーケットの開催(夏、冬)
- メイド・イン上越、雪室推進プロジェクト合同試食会の開催
- 国民文化祭「合唱の祭典」会場における物販の実施
- 灯の回廊イベント雪室商品特別販売の実施
- 雪下・雪室研修会の開催
- 雪下・雪室野菜貯蔵方法等検討会の開催
- 先進地視察研修の実施

主な成果

＜雪室商品の開発・PR＞

- ✓ 新たに4商品が開発され販売開始
- ✓ 事業者同士の新たなつながりの形成を目的に、メイド・イン上越認証品と雪室食品の合同試食会を開催し、商品の魅力やおいしさについて発信。試食会をきっかけに雪室じゃがいものソフトきんづばの開発につながった。



雪室じゃがいものソフトきんづば



雪の香パウンドケーキ



八恵久比岐雪室熟成純米吟醸 YUKI



福鈴(雪室抹茶の餡)

＜雪下・雪室野菜の生産拡大＞

- ✓ 雪下・雪室野菜のブランディングを行う上で課題であった、野菜の品目・品種ごとの貯蔵方法を定めるため、雪室の視察研修を行った。
- ✓ レストラン 六花の里において、雪下・雪室野菜の認知度向上・消費拡大を目的に開催した「真夏の雪室フェア」では、売上高が前年のフェアと比較し約10%増加した。

＜推進組織「雪室推進プロジェクト」の取組＞



参加事業者は39団体
(R2.3月末現在)



真夏の雪イベント「雪室みやげマーケット」を開催し、雪室商品の販売を実施



市内飲食店33店舗と連携し、「雪室グルメフェア」を開催



イベントでの雪室商品の販売(灯の回廊)

評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前	目標値 (R2.3末時点)	実績値	
雪室を利用した商品販売や集客を行う市内直売所・レストランの年間入込客数(単位:人)	99,600人 (H27)	218,000人	114,000人	・目標値の5割以上達成 ・直売所について、周辺の集客施設の入込客数減の影響を受けて、当該施設の目標値を達成できなかった。他の施設に依存しない集客に向けて、再建される雪室の取組とともに情報発信の強化や商品開発などを実施していく。 ・レストランについて、当初計画していた営業形態が変更されたことにより、目標値を達成できなかった。引き続き、食事の提供方法の改善や誘客に向けた取組を推進していく。

- 小林古径邸(国登録有形文化財)から離れた場所に立地している小林古径記念美術館を、小林古径邸敷地内に移設することで、両施設の一体的な利用を図り、国登録有形文化財を活かした芸術文化拠点の創生に取り組む。
- 本事業を推進することにより、当市の芸術文化の魅力の発信とともに、交流人口の拡大が期待される。
- 令和元年度は、平成30年度に引き続き増改築工事を実施し、本体工事を完了した。

令和元年度に実施した事業 382,744千円

■ 企業版ふるさと納税活用関連

<地域再生計画の概要>

計画期間 : H30～R2 (3年間)

計画の目標: 小林古径記念美術館の増改築
歴史・文化資源の活用
芸術文化発信による交流人口の拡大

<地域再生を図るための事業内容>

■ 小林古径記念美術館増改築工事

現在的小林古径記念美術館について、歴史博物館と分離し、小林古径の顕彰はもとより、当市ゆかりの作家の美術作品等を公開する美術館として、小林古径邸敷地内に整備する。

○全体計画

展示室、一時保管庫、ワークショップ等を行う多目的室、ロビー、トイレ等の美術館として必要な機能を整備する。(H27～R2年度)

○整備計画

H27、28年度 基本設計、地質調査
H29年度 実施設計
H30、R元年度 増改築工事
R2年度 外構工事、10月開館(予定)

<小林古径記念美術館増改築完成イメージ図>



■ 主な成果

<令和元年度小林古径記念美術館増改築事業の進捗状況>

- ✓ 事業内容: 増改築工事
- ✓ 成果: 本体工事の完了



美術館外観



展示室内観

<令和元年度企業版ふるさと納税による寄附額>

- ✓ 事業内容: 企業版ふるさと納税による寄附金の募集
- ✓ 成果: 市外本社の事業所8社から合計5,400千円の寄附
阿部建設(柏崎市)／植木組(柏崎市)／加賀田組(新潟市)
／清水光芸社(京都市)／信越化学工業(東京都)／
太陽誘電(東京都)／宮本忠長建築設計事務所(長野市)／
東日本電信電話新潟支店(新潟市)

<累計寄附額>

- ✓ 21,000千円(平成30年度15,600千円／令和元年度5,400千円)

募集用チラシ



評価指標(KPI)				評価
指標	事業開始前	目標値(R2.3末時点)	実績値	
高田城址公園内施設の利用者数(上越市立歴史博物館・高田城三重櫓・小川未明文学館の利用者数合計)	96,000人	103,000人	144,915人	・目標値を達成 ・計画どおり推進する。